

日本造血細胞移植学会  
同種末梢血幹細胞ドナーフォローアップ事業  
参加施設 各位

平成 16 年 1 月 14 日

同種 PBSCT 小委員会

新春の砌、貴施設の皆様にはご清栄の段、大慶に存じ上げ奉ります。

日頃は本事業に何かとご尽力を賜り誠に有り難うございます。

さてこの度、同種末梢血幹細胞ドナーの短期フォローアップ調査におきまして、「重篤な有害事象（痛風発作、胆石胆のう炎(慢性)急性増悪、後者のため手術施行）」に関する報告を得ました。本件は、前者に関しましては既知の有害事象ではありますが、後者に関しましては恐らく未知の有害事象であり、且つドナーはそのために手術を受けております。

従いまして、A群事例（学会ホームページと文書による即時発信）とB群事例（学会ホームページによる四半期毎の発信と本学会総会における報告）の中間に当たる事例とし、四半期毎の報告を待たず学会ホームページ上に緊急掲載することとし、参加施設の皆様に現時点での情報をお知らせすることと致しました。

尚、本文書等の取り扱いにつきましては未だ調査中の事例ですので、ご注意下さいますようお願い致します。

## 記

### 【報告内容】

- |               |  |
|---------------|--|
| 1) ドナー情報      | :R-2647、59 歳、男性、                               |
| 2) G-CSF 投与期間 | :2003 年 12 月 20 日 ~ 2003 年 12 月 24 日           |
| 3) G-CSF 投与量  | :600 $\mu$ g/day                               |
| 4) 報告受理日      | :2004 年 1 月 7 日                                |
| 5) 有害事象内容     | :①痛風発作<br>②胆石胆のう炎急性増悪                          |
| 6) 重篤度        | :治療のために病院又は診療所への入院又は入院期間の延長が必要とされる症例           |
| 7) 発現日        | :2003 年 12 月 22 日                              |
| 8) 当該症状に対する治療 | :①痛風発作; 痛みのためロキソニン使用<br>②胆石胆のう炎; 抗生剤投与、その後緊急手術 |
| 9) 転帰         | :2004 年 1 月 7 日現在・軽快                           |

- 10) G-CSF との因果関係 : ①痛風発作 ; おそらく関連あり  
②胆石胆のう炎(慢性) ; 関連あるかもしれない
- 11) 主治医のコメント : ①痛風発作 ; 白血球上昇に伴い痛風発作出現。痛みのため歩行しづらくなった。炎症増悪に白血球上昇関与か？  
②胆石胆のう炎(慢性) ; 高熱、右上腹部痛、肝障害、黄疸。  
CRP33.5mg/dl まで上昇。急性増悪。1/2 緊急手術となり胆のう摘出。

以上